

平成 25 年 11 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 ラック  
代表者名 代表取締役社長 高 梨 輝 彦  
(JASDAQ・コード番号：3857)  
問合せ先 理事 IR 広報部長 白 石 通 紀  
電 話 03-6757-0107

## 組織変更および人事異動に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成 26 年 1 月 1 日付の組織変更および人事異動を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 組織変更

サイバー攻撃による事件・事故が多発するなか、その攻撃手法は一層複雑かつ巧妙化するとともに組織化され、セキュリティ対策は益々高度化が求められております。当社は、2001 年に「サイバーセキュリティ研究所」の前身である「コンピュータセキュリティ研究所」を設置し、情報セキュリティに関する研究を続けてまいりましたが、高度化するサイバー攻撃の脅威に対応するため、研究機能の拡充と体制の強化を図るべく、同研究所を発展的に解消して「サイバー・グリッド・ジャパン」を新設し、その下に「サイバー・グリッド研究所」と「ナショナルセキュリティ研究所」を配置します。

主な変更点は以下のとおりです。

#### (1) 「サイバー・グリッド・ジャパン」の新設

「サイバー・グリッド研究所」と「ナショナルセキュリティ研究所」を統括するとともに、サイバー空間における安全を確保するため、情報セキュリティ企業との連携も行う“サイバー・グリッド・ジャパン構想”を推進する。

なお、当社は、本日、株式会社セキュアブレインとマルウェア解析に関わる共同研究、またアズビル セキュリティフライデー株式会社と制御システムのセキュリティに関わる共同研究について、それぞれ基本合意書を締結いたしました。

##### ① 「サイバー・グリッド研究所」

サイバーセキュリティに関する先端技術を研究し、研究成果を現場に応用するとともに当社の成長の一翼を担う先端技術者の育成に資する。当面の研究テーマは以下の 7 つとして、各々の専門分野に精通する技術者チームが、それぞれの分野を深掘りして有機的に連携する。

- ハッキング技術
- マルウェア解析技術
- フォレンジック技術
- スマートフォンセキュリティ技術
- 制御システム防御技術
- 国際連携・標準化推進
- 業界連携推進

②「ナショナルセキュリティ研究所」

サイバー・グリッド研究所による成果である先端技術等と連携して、安全保障をテーマに「第五の戦場」であるサイバー空間を研究し、「サイバー戦」や「凶悪なサイバー攻撃」の実態把握を中心に他国の情勢や技術調査などにより、安全保障や危機管理レベルのサイバーセキュリティを支援する。

2. 人事異動

氏名	新役職	旧役職
西本 逸郎	取締役CTO 兼サイバー・グリッド・ジャパンGM	取締役CTO
加藤 智巳	サイバー・グリッド・ジャパン サイバー・グリッド研究所長	セキュリティ事業本部 担当部長
伊東 寛	理事 サイバー・グリッド・ジャパン ナショナルセキュリティ研究所長	理事 サイバーセキュリティ研究所長

なお、当社の平成26年1月1日付組織の詳細については、別紙「株式会社ラック 組織図」をご参照ください。

以上

株式会社ラック 組織図

平成26年1月1日現在

